



SD09 完掘 (SW→)



SD09 断面 (S→)



SD10 完掘 (S→)



SD10 断面 (S→)



SD11 完掘 (S→)



SD11 断面 (W→)



SD12 完掘 (S→)



SD12 断面 B-B' (S→)



SD13 完掘 (W→)



SD13 断面 (W→)



SD14 断面 A-A' (E→)



SD14 断面 B-B' (E→)



SD15 完掘 (E→)



SD15 断面 B-B' (W→)



SD16 完掘 (N→)



SD16 断面 (S→)



SD18・19 実掘 (N→)



SD18・21 断面 (W→)



SD21 実掘 (W→)



SD19 断面 (W→)



SD21・22 実掘 (E→)



SD21 断面 (W→)



SD23 平面 (W→)



SD23 断面 (E→)



SD24 完掘 (W→)



SD24 断面 (W→)



SD25・26 完掘 (上が北)



SD25 断面 (W→)



SD27 完掘 (上が東)



SD27 断面A-A' (W→)



SD28 完掘 (SE→)



SD28 断面 (W→)



SD31 完掘 (E→)



SD31 断面 (W→)



SD32 完掘 (E→)



SD32 断面 B-B' (N→)



SD32 完掘 (E→)



SD32 断面 C-C' (E→)



SD33 完掘 (S→)



SD33 断面 (S→)



SD34・35、SB26 門跡 完掘 (S→)



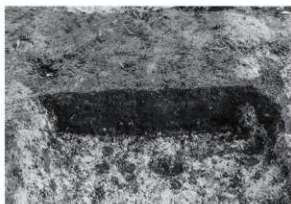
SD34 断面 (W→)



SD35 断面 (W→)



SD36 完掘 (E→)



SD36 断面 A-A' (W→)



SD36 断面 B-B' (W→)



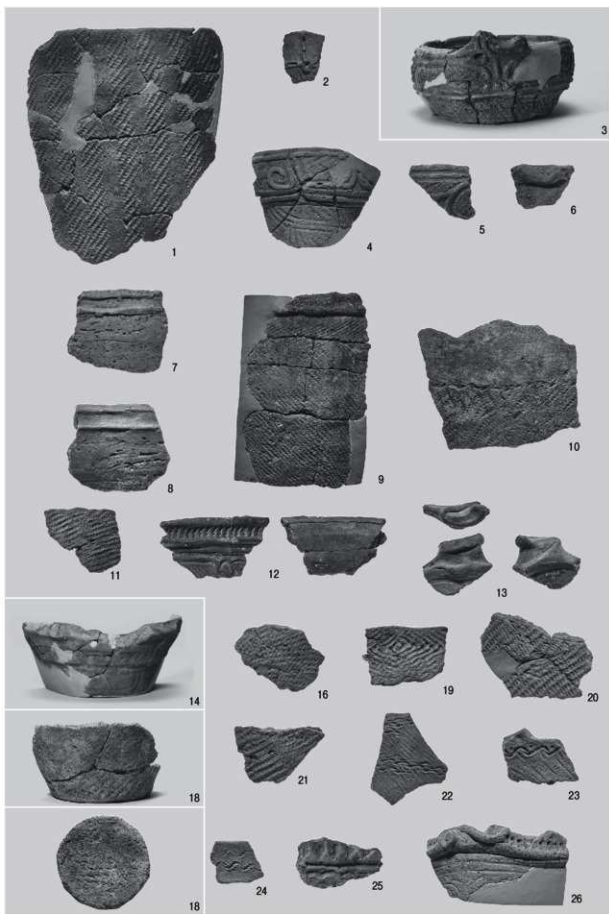
SD37 完掘 (S→)



SD37 断面 (S→)



写真図版 76 調査区南端と二子城

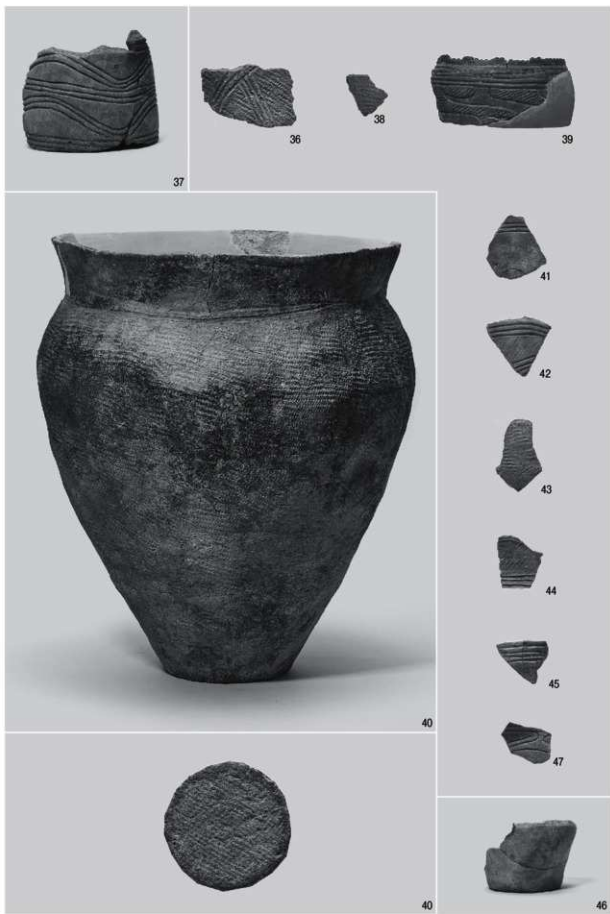


写真図版 77 土器 (1)





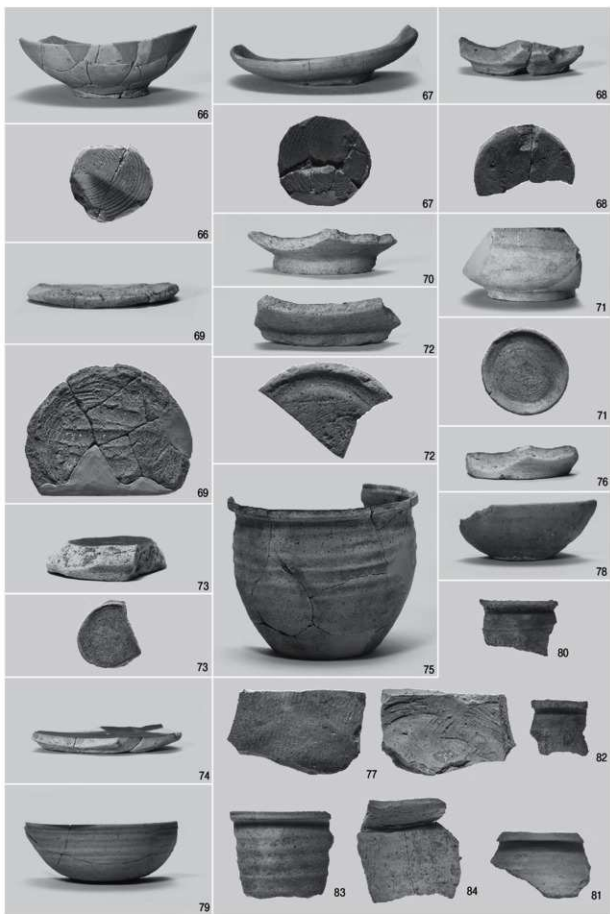
写真図版 78 土器 (2)



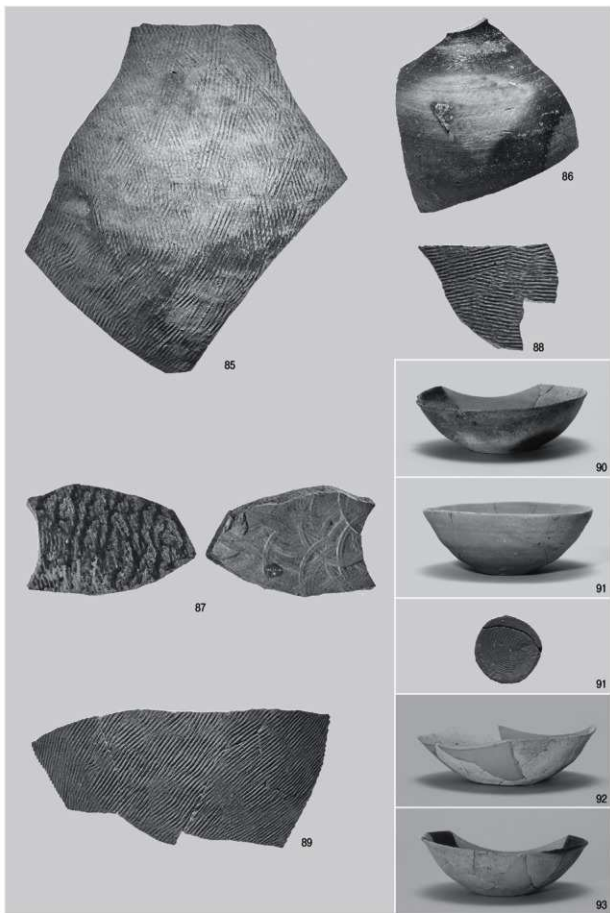
写真図版 79 土器 (3)



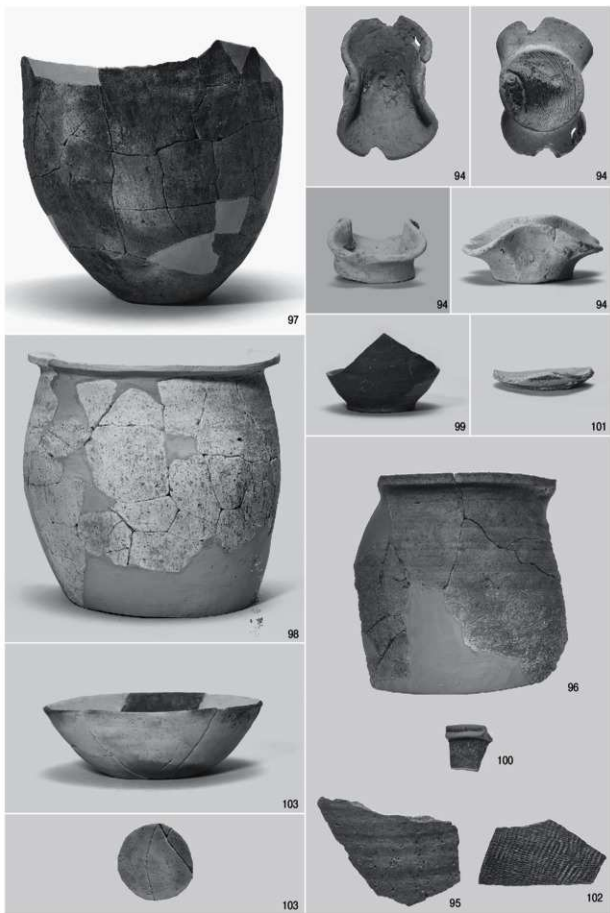
写真図版 80 土器 (4)



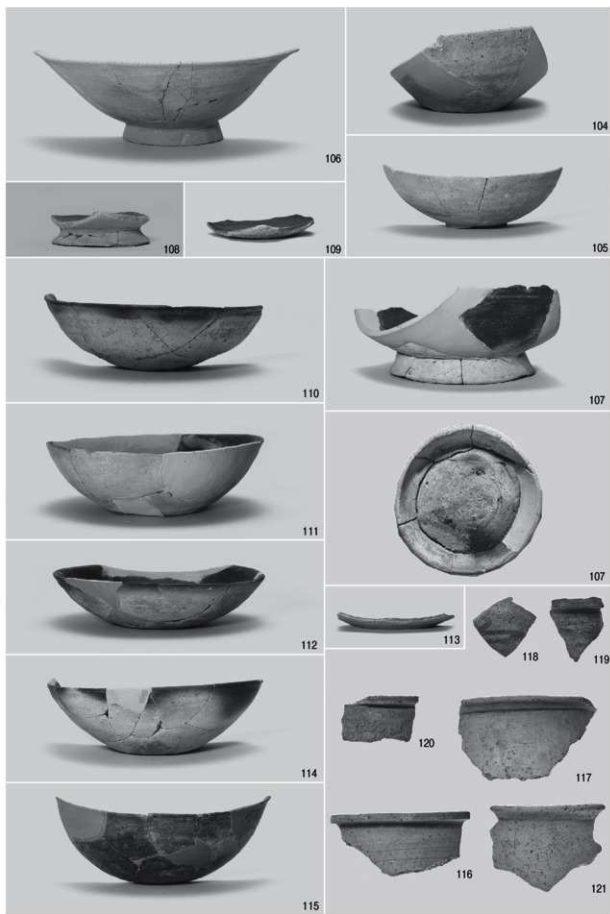
写真図版 81 土器 (5)



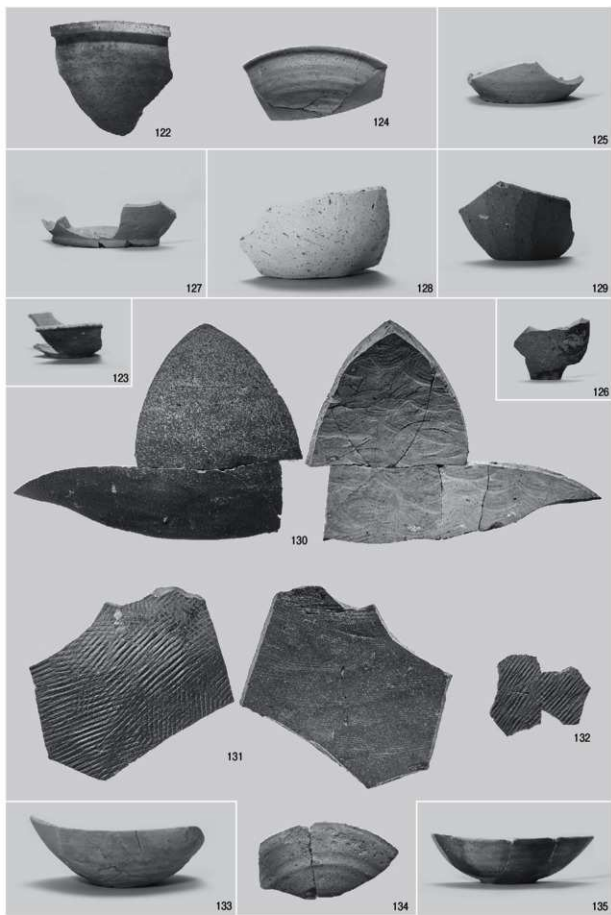
写真図版 82 土器 (6)



写真図版 83 土器 (7)



写真図版 84 土器 (8)

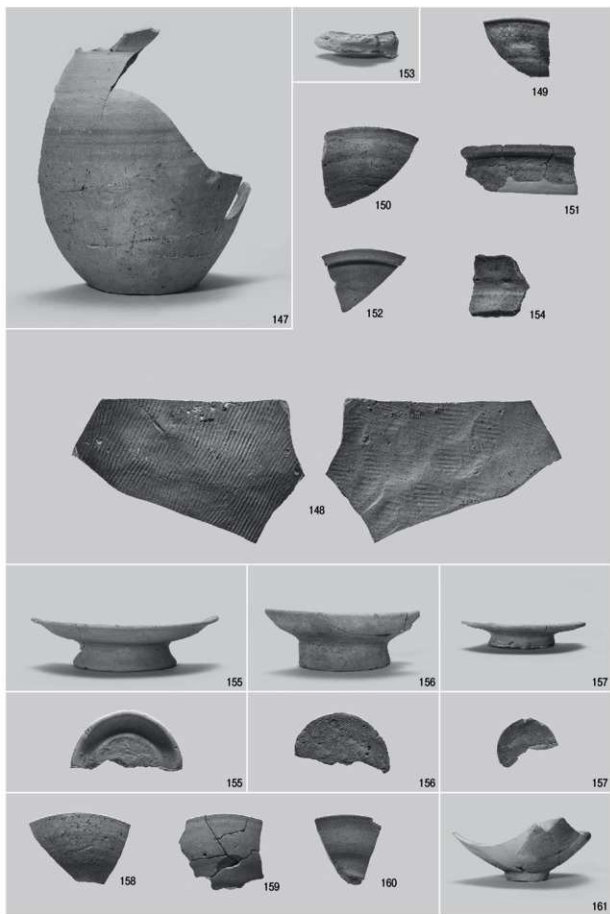


写真図版 85 土器 (9)

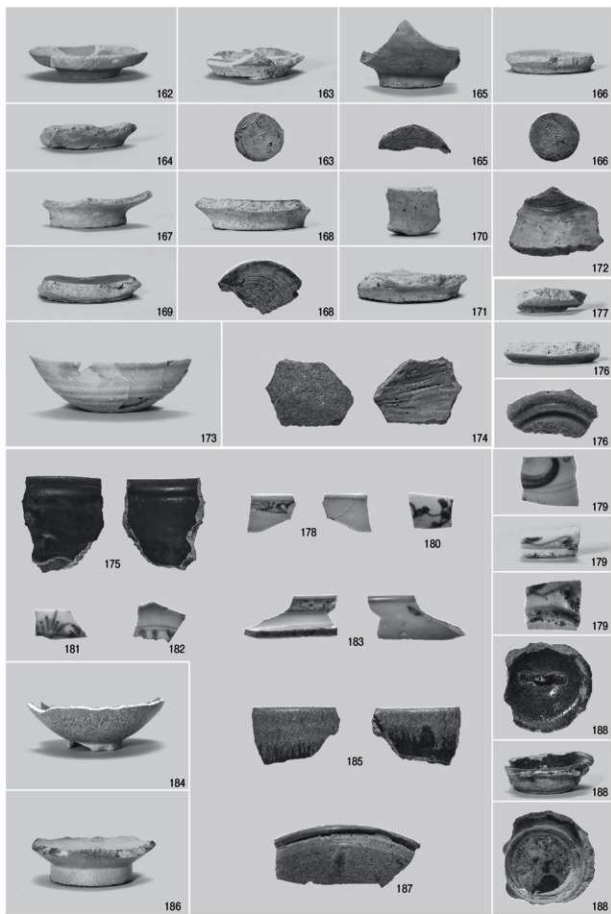




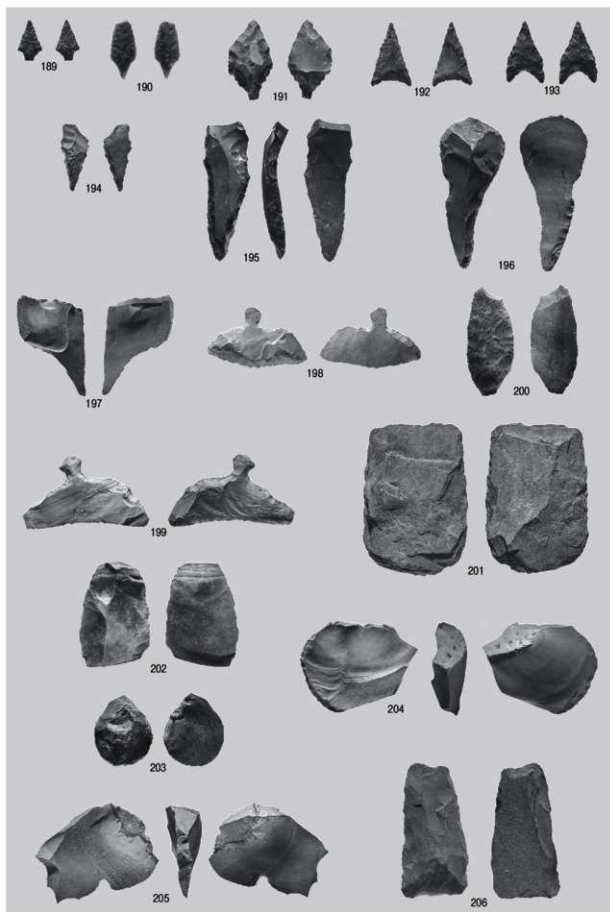
写真図版 86 土器 (10)



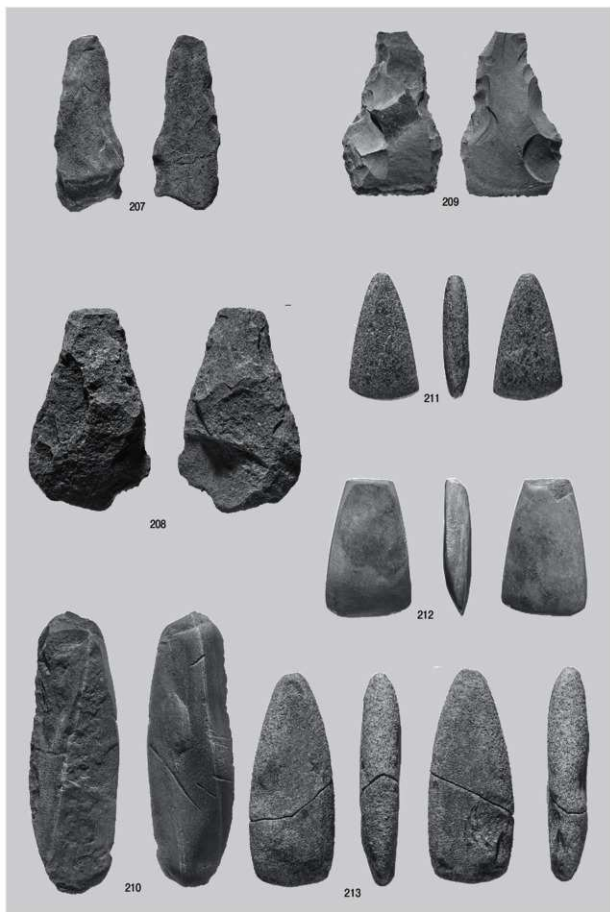
写真図版 87 土器 (11)



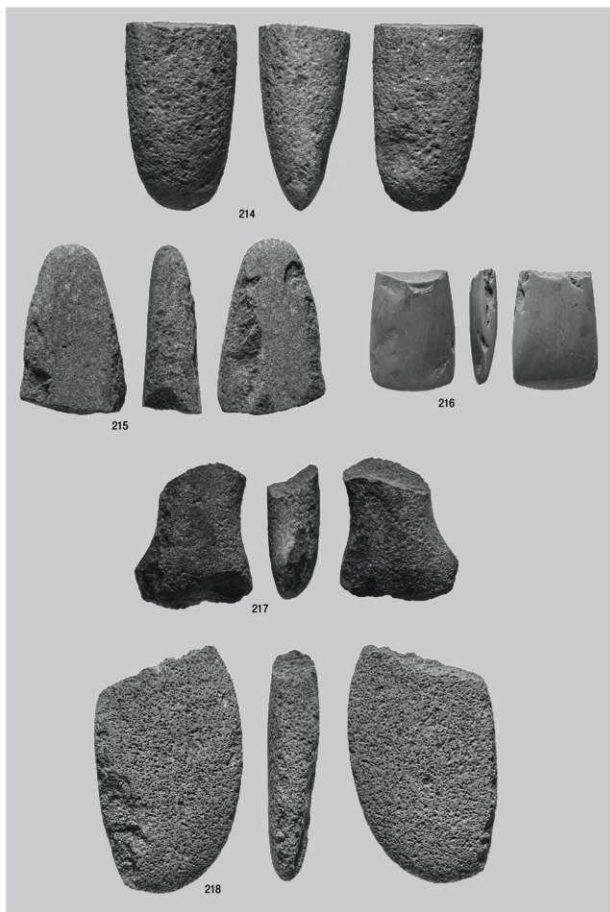
写真図版 88 土器 (12)・陶磁器



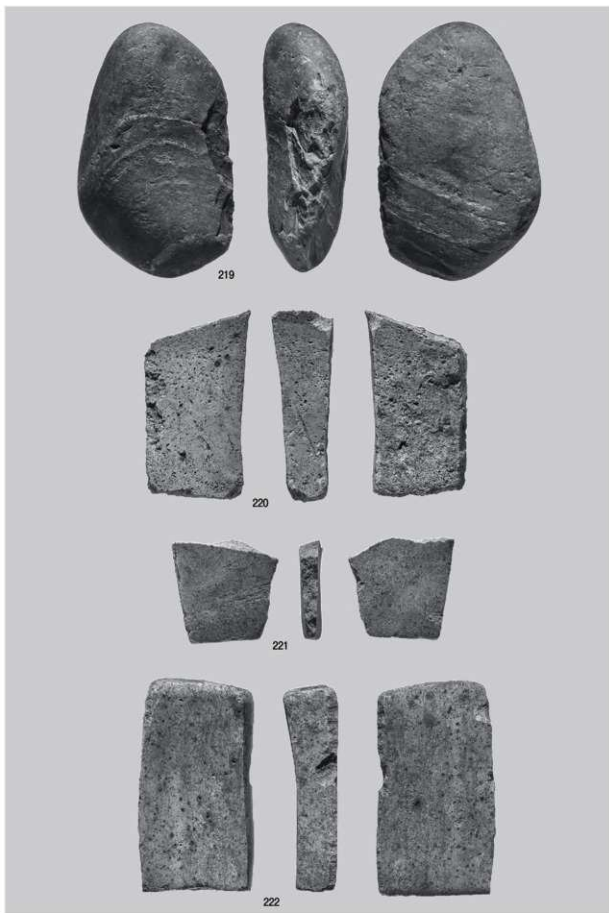
写真図版 89 石器 (1)



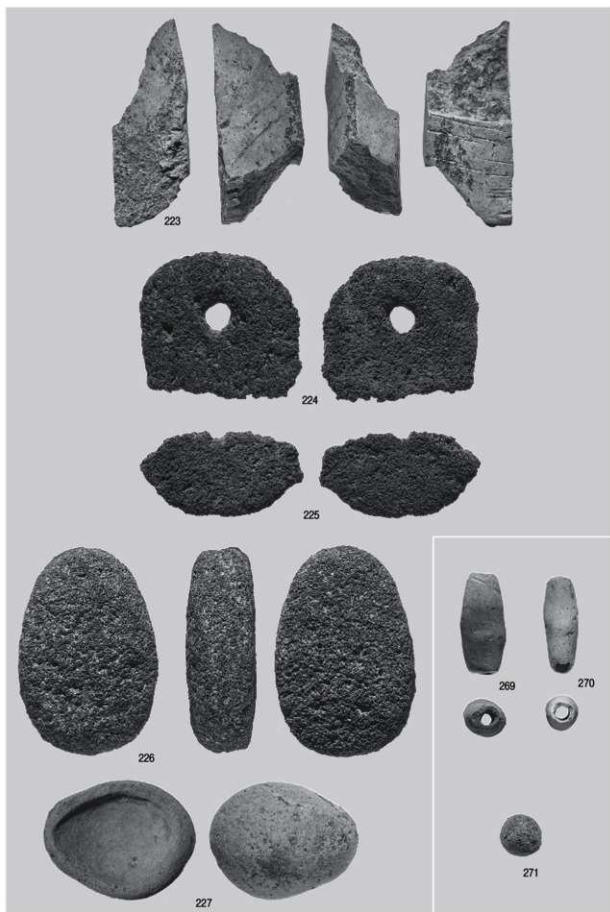
写真図版 90 石器 (2)



写真図版 91 石器 (3)

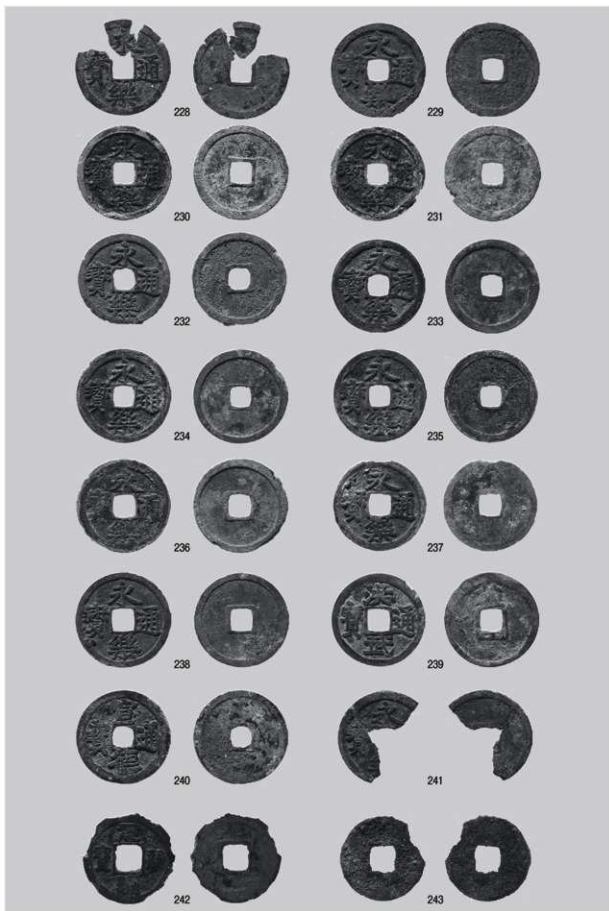


写真図版 92 石器 (4)

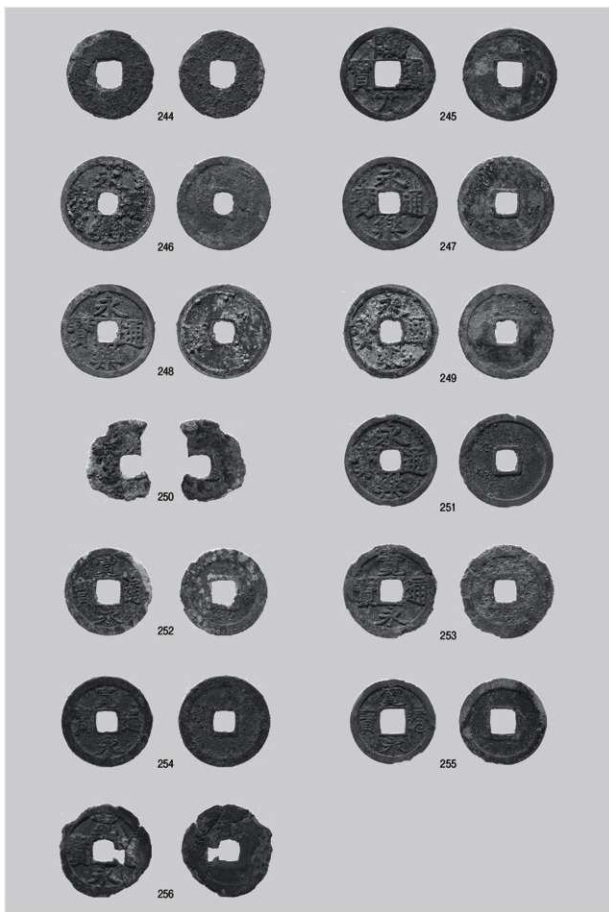


写真図版 93 石器 (5)・石製品・土製品

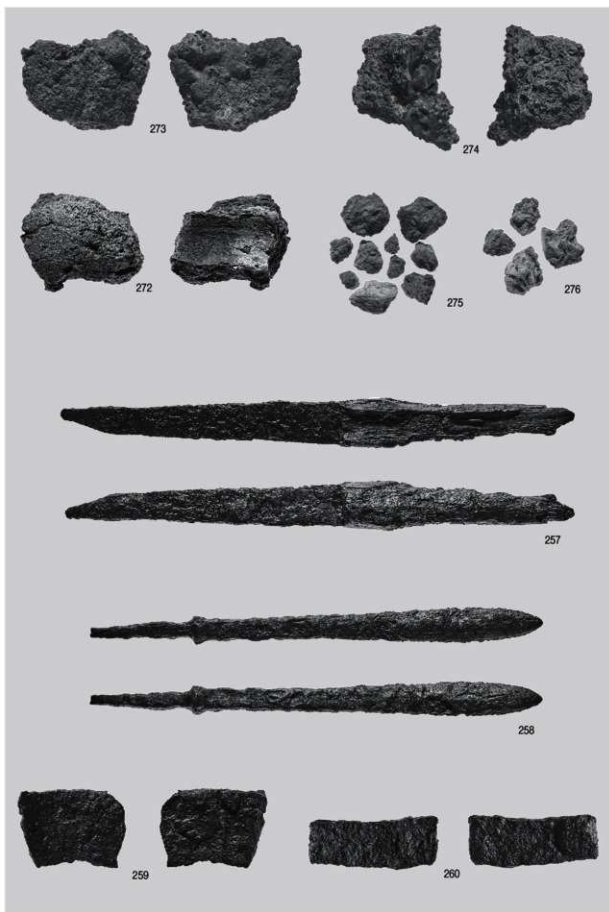




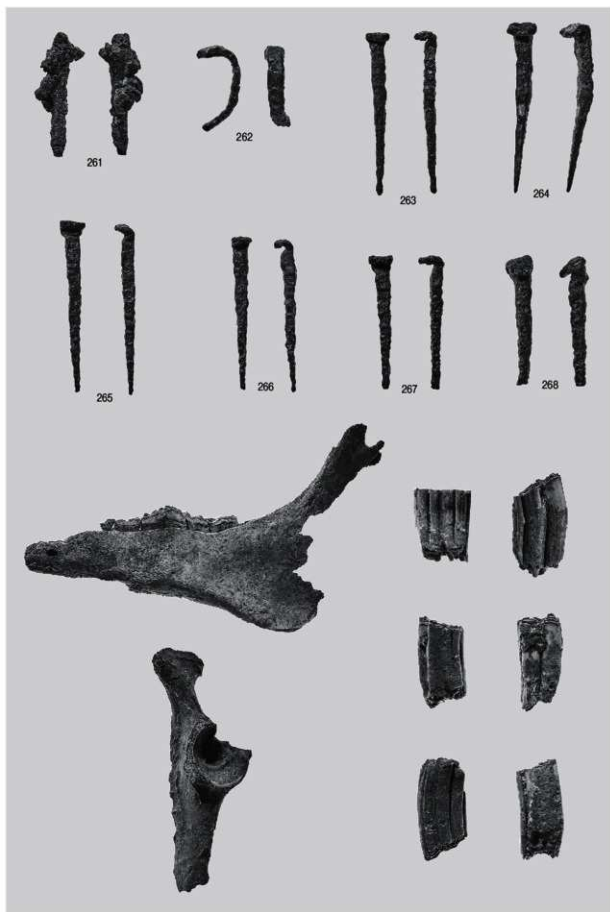
写真図版 94 銭貨 (1)



写真図版 95 錢貨 (2)



写真図版 96 鉄滓・羽口・粘土塊・金属製品



写真図版 97 金属製品・動物遺存体 (1)



SK126・SK127・SK128



SK129・SK132

## 報告書抄録

ふりがな	なりたいたどうたてあととはくつちょうさほうくしょ							
書名	成田岩田堂館跡発掘調査報告書							
副書名	北上工業団地整備事業関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第732集							
編著者名	杉沢 昭太郎							
編集機関	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地 TEL (019)638-9001							
発行年月日	2021年3月12日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村	遺跡番号					
成田岩田堂館跡	岩手県北上市 成田1地割 37番1ほか	03206	ME46-1221	39度 20分 25秒	141度 8分 13秒	2019.04.04 / 2019.11.28	62,386 m <sup>2</sup>	北上市工業 団地整備事 業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
成田岩田堂館跡	集落	縄文時代 弥生時代 平安時代	縄文時代 竪穴住居1棟、陥し穴46基、 土坑10基 弥生時代 焼土11基、土坑1基、土器埋 設1基 平安時代 竪穴住居8棟、土坑1基、性格 不明2基、炭窯8基、溝6条		縄文土器  弥生土器  石器・石製品		11世紀の土師器	
	狩場	縄文時代	中世		土師器			
	墓地	弥生時代	堀2条、土塁4条、出入口施設 2箇所、掘立柱建物22棟、墓壇 37基、土坑3基、炉・焼土2基、 溝3条、柱穴状小土坑1100個		須恵器  中世陶磁器			
	城館	平安時代	近世		錢貨			
	など	中世後半	掘立柱建物1棟、土坑7基、屋 外炉10基、溝10条、出入口施 設1箇所 時期不明 土坑27基、溝16条、焼土2基、 その他遺構2基		金属製品  土製品			
要約	<p>成田岩田堂館は中世和賀氏の居城である二子城の北端部に隣接している。今回の発掘調査により、遺跡として登録されている成田岩田堂館の中には二つの城館が含まれていることが分かった。南側が成田岩田堂館で北側が八森館の一部である。中世成田岩田堂館は東西約70m、南北約140mの範囲を1条の堀と2条の土塁によって囲まれた郭構造であり、南側と西側に出入口施設を有する。大小の掘立柱建物が多数確認され、出土遺物から16世紀に機能していたことが分かった。調査区北部は八森館の一部であることが明らかとなった。東側と北側は段丘崖、南側には堀と土塁、西側には堀を巡らせている。多数の掘立柱建物があり、堀からは16世紀の陶器が出土した。八森館からは中世の墓も多数見つかり、城館として使われる少し前には墓地であった。中世以前は、平安時代・弥生時代・縄文時代中期の小規模な集落であった。縄文時代には狩猟の場としても使われていた時期があった。</p>							

---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第732集

## 成田岩田堂館跡発掘調査報告書

北上工業団地整備事業関連遺跡発掘調査

印刷 令和3年3月3日

発行 令和3年3月12日

- 編集 (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター  
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地  
電話 (019) 638-9001
- 発行 北上市  
〒020-8501 岩手県北上市芳町1番1号  
電話 (0197) 64-2111  
(公財) 岩手県文化振興事業団  
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13番1号  
電話 (019) 654-2235
- 印刷 山口北州印刷株式会社  
〒020-0184 岩手県盛岡市青山4丁目10番5号  
電話 (019) 641-0585